

パートナーイベント

SKIPシティ国際Dシネマ映画祭2022

SKIPシティ国際
Dシネマ映画祭2022
SKIP CITY INTERNATIONAL D-Cinema FESTIVAL 2022

会 期：(スクリーン上映)2022年7月16日(土)～24日(日)、(オンライン配信)2022年7月21日(木)～27日(水)

会 場：SKIPシティ映像ホール/多目的ホールほか(埼玉県川口市)

主 催：埼玉県/川口市/SKIPシティ国際映画祭実行委員会/(特非)さいたま映像ボランティアの会

後 援：総務省/外務省/経済産業省/文化庁/(一社)日本映画製作者連盟/(一社)映画産業団体連合会/
(公財)ユニジャパン/(一社)外国映画輸入配給協会/(公社)映像文化製作者連盟/(一社)日本映画テレビ技術協会/
(一社)日本映画テレビプロデューサー協会/(協組)日本映画監督協会/(協組)日本映画撮影監督協会/
(協組)日本映画製作者協会/全国興行生活衛生同業組合連合会/生活衛生同業組合埼玉県映画協会/
(一財)デジタルコンテンツ協会/(特非)映像産業振興機構/NHK/FM NACK5/埼玉新聞社/アメリカ大使館/
ウルグアイ東方共和国大使館/スウェーデン大使館/デンマーク王国大使館/ドイツ連邦共和国大使館/
ノルウェー大使館/在日フランス大使館/アンスティチュ・フランセ日本/ボリビア多民族国大使館/
駐日マダガスカル共和国大使館/ヨルダン・ハシェミット王国大使館/駐日ラトビア共和国大使館

対 象：一般、映画関係者

公式サイト URL：https://www.skipcity-dcf.jp

総来場者数(参加数)：4,227人(スクリーン上映)、4,314回(オンライン配信)

出展参加国と地域数：99の国と地域

プレス社数：70社

■開催内容

若手映像クリエイターの登竜門として回を重ね、2022年、第19回を迎えたSKIPシティ国際Dシネマ映画祭は、3年ぶりのスクリーン上映と、オンライン配信を併用した初のハイブリッド開催となり、本映画祭で3年連続受賞を果たした磯部鉄平監督の『世界の始まりはいつも君と』のオープニング上映で幕を開けた。

特集企画「ウクライナに寄せて」では、過去の本映画祭で上映したウクライナ作品『この雨は止まない』と『ラブ・ミー』をチャリティ上映。いずれも日本では劇場未公開作品であり、貴重な上映機会となった。

「What's New～飛翔する監督たち～」と題した特集では、過去の本映画祭にノミネートした監督たちの最新作をワールド・プレミアで紹介。オープニング作品『世界の始まりはいつも君と』に加え、2021年の国内コンペティション長編部門で優秀作品賞と観客賞をW受賞した菅野孝幸監督の『断捨離パラダイス』、2019年の同部門にノミネートした真田幹也監督の『ミドリムシの姫』を上映した。

コンペティション部門では、99の国と地域から応募された合計935作品の中から厳選し、国際コンペティション10本、国内コンペティション長編部門6本、同短編部門8本をノミネート。国際コンペティションの審査委員長には寺島しのぶ(女優)、国内コンペティションの審査委員長には芦澤明子(撮影)を迎え、クロージング・セレモニーで各賞の発表・授与を行った。

国際コンペティションでは、『揺れるとき(Softie)』(サミュエル・セイス監督/フランス)が最優秀作品賞(グランプリ)に輝いた。監督賞は『マグネティック・ビート(Magnetic Beats)』(ヴァンサン・マエル・カルドナ監督/フランス、ドイツ)、審査員特別賞は『UTAMA～私たちの家～(Utama)』(アレハンドロ・ロアイサ・グリシ監督/ボリビア、ウルグアイ、フランス)、観客賞は『彼女の生きる道(Her Way)』(セシル・デュクロック監督/フランス)が受賞した。

国内コンペティションでは、長編部門で『ダブル・ライフ』(余園園監督/日本、中国)、短編部門で『サカナ島胃袋三腸目』(若林萌監督/日本)が優秀作品賞を受賞し、観客賞には長編部門で『ヴァタ～箱あるいは体～』(亀井岳監督/日本、マダガスカル)、短編部門で『ストレージマン』(萬野達郎監督/日本)が選ばれた。また全ての日本作品を対象に今後の長編制作に可能性を感じる監督に対して授与するSKIPシティアワードには『Journey』(霧生笙吾監督/日本)が選出された。

■2022年度の新規取り組みとその成果・特色など

スクリーン上映とオンライン配信を併用したハイブリッド開催として、双方の利点を生かし、スクリーン上映では上映に合わせゲストによるQ&Aセッションなどのイベントを開催。オンライン配信ではコンペティション部門のノミネート作品24本とチャリティ上映「ウクライナに寄せて」の2本を期間中いつでも見られる環境で配信した。アンケート結果ではスクリーン上映、オンライン配信ともに満足度が8割を超える好評をいただいた。さらにオンライン配信では40都道府県からのアクセスがあり、開催地以外の映画ファンや映画業界関係者にも参加していただくことができた。

■他イベントや非コンテンツ企業との連携事例などの実施事例、件数・成果

第35回東京国際映画祭との提携企画として、国内コンペティション長編部門優秀作品賞受賞作品『ダブル・ライフ』を上映。監督・出演者とのQ&Aセッションも実施した。

